

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。
(<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>)



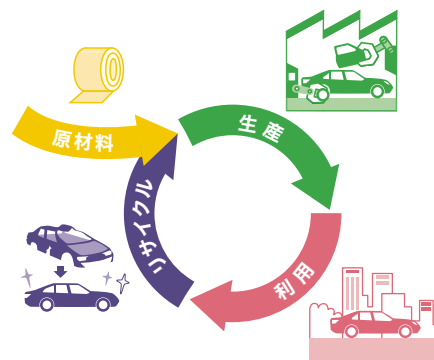
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ プロボックス 環境仕様

車両型式		6AE-NHP160V	5BE-NSP160V	5BE-NCP160V	3BE-NCP165V
車両重量	kg	1,160	1,090		1,170
CO ₂ 排出量*1	g/km	103	140	135	159
	g/km	84	132	118	147
排出ガス	適合規制または認定レベル(国土交通省)	*2 平成30年基準排出ガス75%低減レベル	平成30年基準排出ガス50%低減レベル		平成30年排出ガス規制適合
	適合規制値または認定レベル値 CO ₂ /NMHC/NOx/PM	g/km	1.15/0.050/0.025/ー		1.15/0.100/0.050/ー
車外騒音	規制区分 加速/定常/近接	dB	平成28年騒音規制 N1A2A		
冷媒の種類 (GWP値*3) / 使用量 (g)		71 (規制値) / ー /71	71 (規制値) / ー /76	71 (規制値) / ー /77	71 (規制値) / ー /83
環境負荷物質削減		HFC-134a (1430*4) /420	HFC-134a (1430*4) /370		
	鉛	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/10以下*5)			
	水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止*6)			
	カドミウム	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)			
	六価クロム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)			
車室内VOC*7		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)			
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子 (PZTセンサー) 等) 使用/鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバルancer、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど			
	水銀	水銀廃止済み部品: コンビネーションメーター			
	六価クロム	六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他			
	カドミウム	カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他			
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品 樹脂、ゴム部品への材料表示 リサイクル材の使用	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材 あり ダッシュサイレンサー等			

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。 *2. WLTCモード走行 *3. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) *4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。 *5. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛/バッテリーを除く)。 *6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。 *7. VOC: Volatile Organic Compounds